

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成23年6月23日 (2011.6.23)

【公開番号】特開2009-290454(P2009-290454A)

【公開日】平成21年12月10日 (2009.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-049

【出願番号】特願2008-139630(P2008-139630)

【国際特許分類】

H 0 1 Q 1/22 (2006.01)

E 0 5 B 1/00 (2006.01)

H 0 1 Q 7/08 (2006.01)

E 0 5 B 49/00 (2006.01)

B 6 0 R 11/02 (2006.01)

B 6 0 J 5/04 (2006.01)

H 0 1 Q 1/24 (2006.01)

【F I】

H 0 1 Q 1/22 Z

E 0 5 B 1/00 3 0 1 A

H 0 1 Q 7/08

E 0 5 B 49/00 K

B 6 0 R 11/02 A

B 6 0 J 5/04 H

H 0 1 Q 1/24 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月11日 (2011.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

磁性体コア及び前記磁性体コアに巻回されたコイルを備える送信アンテナ部と、
絶縁体からなる 2 枚の基板の貼り合わせ面に、互いに接触しない一対の導電体が形成され、人体が近接すると静電容量を変える静電容量検出電極が前記基板の前記貼り合わせ面の裏面に形成され、前記静電容量検出電極及び前記一対の導電体に前記静電容量の変化を検出する静電容量検出回路が電氣的に接続される静電容量センサ部と、

前記静電容量検出電極に対して電氣的に隔離された状態で前記静電容量センサ部に配置される補助電極と、を備え、

前記静電容量センサ部は、前記送信アンテナ部に対して、前記磁性体コアの長手軸方向に連結される

送信アンテナ装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の送信アンテナ装置において、

前記一対の導電体は棒状及び矩形状に形成され、前記棒状に形成された前記導電体の内側に、前記矩形状に形成された前記導電体が配置される

送信アンテナ装置。

【請求項 3】

請求項 1 記載の送信アンテナ装置において、
前記一対の導電体は带状に形成され、互いに同じ方向に並んで配置される
送信アンテナ装置。

【請求項 4】

請求項 1 記載の送信アンテナ装置において、
前記一対の導電体は所定の方向に巻回された導線であって、前記導電体が互いに同じ方
向に並んで配置される
送信アンテナ装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の送信アンテナ装置において、
前記補助電極は、前記静電容量センサ部及び前記送信アンテナ部に配置される
送信アンテナ装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の送信アンテナ装置において、
前記補助電極は、前記静電容量センサ部に所定の巻き回数で巻回される
送信アンテナ装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の送信アンテナ装置が収容されるドアハンドル。